

めざす子ども像…

豊かな心で互いの違いや多様性を認め合える子ども  
自分の考えや良さを言える子ども  
自分自身でしっかり考えて行動できる子ども



## 守り合えることの幸せ



今月3日から、令和4年度の新しい登校班での登校が始まっています。最初は少し戸惑い気味だった新班長・副班長さんも、自分の立場や役割に少しずつ慣れ、リーダーらしさを発揮し始めた頃でしょうか。1年生の子どもたちも、4月に入学してくるかわいい後輩たちのことを意識して、お兄さん・お姉さんらしく振る舞おうと思い始めた頃でしょうか。もうすぐ卒業する6年生は、これから先もみんなが楽しく安全に登校できるように、自分が経験してきたことを班のメンバーに伝えようとしてくれているのでしょうか。

本校では地区別の登校班で登校をしています。集団登校を行っている学校は、実はそれほど多くありません。大内小学校で長年集団登校が続けられてきたのは、地域の交通事情が考慮されてきたからだと思います。常時混雑している県道を避けるために狭い市道が抜け道として使われる…抜け道を通る車は先を急いでいるので速度が速い…横断歩道があってもなかなか停まってくれない車もいる…そんな中を、たくさんの小学生と自転車に乗った中高生が、すれ違いながら登校している…。もし登校班での集団登校がなくなったらと思うと、とても心配になります。

だからこそ、新しい登校班でも、みんなで助け合いながら、楽しく安全に登校できるようになってほしいと願っています。そのために大切なのは、集合時刻に遅れないこと、班長さん・副班長さんの助言をよく聞くこと、そしてもちろん、交通ルールや登校班のきまりをきちんと守るということです。新しい班での登校に少しずつ慣れてきた今だからこそ、みんなで守り合っているということ、改めて子どもたちに意識してほしいと思います。保護者の皆様からも、機を見てお子様に声をかけていただきますよう、よろしく願いいたします。

### 3月の目標「感謝の気持ちを伝えます」(『あたりまえ10箇条』+α)

どんなに心の中で思っている、伝えようとしなければ伝わらない。ずっと黙ったままだったら、逆に相手に悪い印象を与えてしまうことにもなるかも…。感謝の気持ちの表現は、子どもたちが将来社会生活を送っていく上で欠かすことができない、とても重要なスキルだと言えます。一年の節目である年度末は、それを学ぶ大きなチャンスです。

## 大切な命を守るために

春が近づき温かくなってくると、不審者による声かけ事案など、小・中学生が被害に遭う事件が増加する傾向があります。自分の命を守る行動ができるように、学校では、次のようなことを指導しています。

- ・登校班の集合時刻を守る。忘れ物を取りに戻らない。→遅れて一人で登校しない。
- ・下校時やスポ少・塾などの行き帰り、友だちの家に遊びに行くときなどに、できるだけ一人で行動しない。
- ・下校時刻や帰宅時刻を守る。【帰宅時刻】3月31日まで午後5時  
4月1日から午後6時

生活サイレンに  
合わせています。

- ・「いかのおすし」を徹底する。

ついて“いか”ない!  
“お”おごえでさげぶ!

しらない人の車に“の”らない!  
“す”ぐにげる!

大人に“し”らせる!

※不審者が現れたら、すぐに警察に知らせる。その後、学校に連絡する。

- ・いざというときに守ってくれるまもり隊や交通指導員、地域の方等に、普段からきちんとあいさつをする。

ご家庭におかれましても、通学路や地域の状況に合わせて、お子様と話をさせていただきますよう、よろしく願いいたします。

